

(別記)

令和5年度大町市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は、県の北西部に位置し、西側に日本の屋根といわれる急峻な後立山連峰を擁し、東側にはなだらかな起伏を呈する東山低山帯が形成されており、この2つの間をフォッサマグナが走る地形となっている。

耕作面積に占める水田の割合は85%で、気象的には内陸性気候地帯であるが、裏日本性気候の影響を強く受けることから、気温は概して低めの地帯にある。

冬期間は積雪が多く、降霜期間は11月上旬から5月中旬にまでおよび、このため施設園芸等には、耐雪構造の施設や暖房施設等が必要になることから、生産コストが極めて高額となるなど厳しい状況にある。

このような厳しい自然条件のなかではあるが、北アルプスの豊かな雪解け水に恵まれ、農家のほとんどが水稻を基幹作物として農業を営んでおり、県内でも優良な米の産地となっている。

このことから、水稻を基幹作物として捉え、そば・大豆・麦を中心に他の作物を効果的に組み合わせつつ水田農業の振興を図っている。

昨今は、農家の高齢化による離農者の増加、若者の農業離れによる後継者不足などにより、耕作不利地域の遊休荒廃地化が危惧される場所である。農地中間管理機構を通じた農地の集約を進め、農地維持に保持しているが、耐用年数を経過した作業用機械の更新が難しくなるなど、中小規模の農家の転換期を迎えていると言える。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域農業経営は水稻が主軸となっており、園芸作物への取組が進まない状況にあるが、重点振興作物を定め野菜や果樹等の高収益作物や加工・業務用野菜への転換を推進する。また、新市場開拓米に取り組む生産者が出てきているため、実需者の求める品質や需要に対応しつつ農家所得を向上させるため生産コストの低減に向けて疎植栽培の導入や水稻一発型肥料への切り替えによるコスト削減や、低コスト栽培の新技术の導入等を推進し定着率を上げることでコスト削減を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効活用に向け引き続き担い手や農業法人による農地の集積・集約化を進め、畑作物の転作だけではなく新市場開拓米等の非主食用米による転作の拡大を図る。また、生産者及び関係機関と協議をしながらブロックローテーションの体系を構築していくとともに、営農計画書や現地確認によって水稻を組み入れない作付体系が数年以上定着し畑作物のみを生産し続けている水田がないか今後も水稻作に活用される見込みがないか等の点検を行う。その点検結果を踏まえて、畑地化支援が必要な地域は畑地化促進事業を活用して畑地化を促進する。また、畑地化をして高収益作物に栽培に取り組む場合には水田農業高収益化推進計画を作成し、生産者及び関係機関と連携を取りながら計画的に支援していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

生産数量目安値に沿った作付面積を確保するとともに、加工用米や新規需要米については、それぞれ需要に応じた生産数量を確保する。また一定以上の集積や団地化をしなければ、個々の農家が実施しても作業効率が上がらず、コストが抑えられないこと、また、高品質化が望めないことから農地の集積を促進する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

低コスト生産を推進するとともに収益性を確保しながら実需に合わせた生産拡大を図っていく。

イ 米粉用米

大北地域（JA大北管内）において米の消費拡大を目的とした米粉食品の商品開発がされていることから、実需に合わせた生産の推進を図っていく。

ウ 新市場開拓米

主食用米の需要減が見込まれる中、取扱業者を通じ実需に合わせた生産拡大を進めるとともに、低コスト生産の定着を目指す。

エ WCS 用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、実需に合わせた生産拡大を図っていく。

オ 加工用米

主食用米とは別枠で生産でき、非主食用による転作作物として集荷業者を中心に農業者の要望により生産の拡大を図るとともに、低コスト生産の定着を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、全量1等となるよう排水対策の実施等による品質向上を目指す。大豆については、全量3等以上を目標とした品質向上に向け、生産性の高い優良品種への転換、湿害を回避するための排水対策の実施、機械の導入による省力化・機械化体系の構築などを進め、高品質大豆の生産に取り組むとともに、二毛作による生産拡大を図る、多収高品質化を進めていく。飼料作物については、減少傾向にある畜産農家数を維持できるよう周辺地域への合意形成をとりながら、堆肥の有効活用及び生産コストの削減を図る。さらに麦、大豆、飼料作物は一定以上の集積や団地化をしなければ、個々の農家が実施しても作業効率が上がらず、コストが抑えられないこと、また高品質化が望められないことから農地の集積を促進する。

(4) そば、なたね

そばについては、適期播種、肥培管理を徹底し、乾燥調整は共同調整施設へ一元化し、高品質で均一なそばを生産する。また、需要に応えるべく夏そばの取り組みを進め、秋そばとの二期作により生産拡大を図る。さらに一定以上の集積や団地化をしなければ、個々の農家が実施しても作業効率が上がらず、コストが抑えられないこと、また、高品質化が望められないことから農地の集積を促進するとともに、機械の共同利用（委託を含む）によりコスト削減を図る。

(5) 地力増進作物

資材費の高騰の中、産地交付金を活用することで、地力増進作物を作付することにより土づくりとともに環境負荷の低減を図る。

(6) 高収益作物

学校給食や食品メーカー向け業務用野菜を重点振興作物と位置づけ作付けの拡大を図っていく。地域振興作物としてはアスパラガス、トマト、白ねぎ、たまねぎ、アスター、トルコギキョウ、ひまわり（切花用）を重点振興作物と位置づけJAと連携して作付けの拡大を図っていく。さらに園芸作物の新植については、アスパラガス・りんご・ブルーベリー・ブドウ・プルーン・わさび・リンドウ・木いちご（切花用）・シクヤク、栗を重点振興作物と位置づけ農家の作業能力に応じて定着を図っていく。また、所得増加のため出荷販売目的により地域の特産品やニーズの高い野菜などの転作作物を作付けした場合、作付面積に応じ、当該作付けを行ったものに対し助成を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1384		1352		1352	
備蓄米						
飼料用米	16		2		2	
米粉用米						
新市場開拓米	16		20		20	
WCS用稲	0.7		0.7		0.7	
加工用米	3.5		24		24	
麦	42		40		40	
大豆	47		48		48	
飼料作物	5.3		4.8		4.8	
・子実用とうもろこし	0		0.5		0.5	
そば	243	55	248	56	248	56
なたね						
地力増進作物			1.1		1.1	
高収益作物	159.5		151.5		151.5	
・野菜	102		99		99	
・花き・花木	9.5		7.5		7.5	
・果樹	48		45		45	
・その他の高収益作物						
その他						
畑地化	0		15		15	

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦・大豆・そば (基幹)	担い手土地利用集積助成	作付け面積拡大	(令和4年度) 303.2ha	(令和5年度) 315.0ha
2	飼料作物	担い手土地利用集積助成	作付け面積拡大	(令和4年度) 3.7ha	(令和5年度) 3.7ha
3	大豆・そば (二毛作)	二毛作助成	作付け面積拡大	(令和4年度) 55.0ha	(令和5年度) 50ha
4	加工用米・飼料用米・新市場開拓用米	低コスト生産支援	・疎植栽培 ・一発型肥料施肥 ・低コスト栽培の新技術導入の普及面積拡大	(令和4年度) 35.3ha	(令和5年度) 37.5ha
5	加工業務用野菜 ※別表1のうち出荷契約を締結したもの	加工・業務用野菜への支援	作付け面積拡大	(令和4年度) 1.2ha	(令和5年度) 1.5ha
6	アスパラガス、トマト（中玉トマト、ミニトマト含む）、白ねぎ、たまねぎ、アスター、トルコギキョウ、ひまわり（切花用）基幹作物)	地域振興作物への支援	作付け面積拡大	(令和4年度) 13.3ha	(令和5年度) 7ha
7	野菜・花き・花木 別表2	高収益作物への支援	作付け面積拡大	(令和4年度) 7.2ha	(令和5年度) 15.0ha
8	アスパラガス・りんご・ブルーベリー・ブドウ（ワイン用・生食用）・プルーン・わさび・リンドウ・木いちご（切花用）・シャクヤク、栗	園芸作物の新植への支援	新植面積拡大	(令和4年度) 0.9ha	(令和5年度) 1.0ha
9	そば (基幹)	そば・なたねの取組（地域の取組に応じた配分の対象分）	作付け面積拡大	(令和4年度) 238ha	(令和5年度) 241ha
10	新市場開拓米	新市場開拓米（地域の取組に応じた配分）	作付け面積拡大	(令和4年度) 15.7ha	(令和5年度) 20ha
11	地力増進作物	地力増進作物の作付け（地域の取組に応じた配分）	作付け面積拡大	(令和4年度) -	(令和5年度) 1.1ha
13	新市場開拓米	新市場開拓米の複数年契約加算（地域の取組に応じた配分の対象分）	作付け面積拡大	(令和4年度) 6.5ha	(令和5年度) 6.5ha (令和6年度) 6.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:

協議会名:

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	担い手土地利用集積助成	1	9,000	麦・大豆・そば(基幹)	対象作物の土地利用集積
2	担い手土地利用集積助成(飼料作物)	1	11,000	飼料作物	対象作物の土地利用集積
3	担い手土地利用集積助成(二毛作)	2	9,000	大豆・そば(二毛作)	大豆またはそばを作付した面積のうち、二毛作または二期作分の面積に助成
4	低コスト生産支援	1	2,000	新市場開拓用米	疎植栽培、一発型肥料を使用、新技術の投入のうちいずれかに取り組む
		1	4,000	加工用米	疎植栽培、一発型肥料を使用、新技術の投入のうちいずれかに取り組む
		1	17,000	飼料用米	疎植栽培、一発型肥料を使用、新技術の投入のうちいずれかに取り組む
5	加工・業務用野菜への支援	1	19,000	加工業務用野菜 ※別表1のうち出荷契約を締結した物	出荷契約を締結した対象作物を作付した面積に助成
6	地域振興作物への支援	1	13,000	アスパラガス、トマト(中玉トマト、ミニトマト含む)、白ねぎ、たまねぎ、アスター、トルコギキョウ、ひまわり(切花用)、(基幹作物)	出荷販売目的で対象作物を作付した面積に助成
7	高収益作物への支援	1	9,000	野菜・花き・花木 別表2	出荷販売目的で対象作物を作付した面積に助成
8	園芸作物の新種への支援	1	49,000	アスパラガス・りんご・ブルーベリー・ブドウ(ワイン用・生食用)・ブルーベリー・わさび・リンゴ・ウ・木いちご(切花用)・シャクヤク・栗	出荷販売目的で対象作物を新規作付した面積に助成
9	そば(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	そば・なたね(基幹)	出荷契約を締結した対象作物を作付した面積に助成
10	新市場開拓米(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	新市場開拓米	新市場開拓米を作付した面積に助成
11	地力増進作物の作付け(地域の取り組みに応じた配分)	1	20,000	地力増進作物	次作の作付までにすき込みを行い、販売等を目的とした作物を栽培する為の地力増進を目的として作付した面積に助成
12	新市場開拓米の複数年契約(地域の取り組みに応じた配分)	1	10,000	新市場開拓米	複数年契約(3年以上)を締結した対象作物を作付した面積に助成

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別表1 加工野菜

青トウガラシ	菊芋	さといも	だいこん	パセリ	ヤーコン
小豆	きのこ	ししとう	玉ねぎ	花豆	やまいも
アスパラガス	キャベツ	しそ	タラの芽	パプリカ	やまごぼう
トマト	きゅうり	じゃがいも	中玉トマト	ピーマン	ゆうがお
インゲン	行者ニンニク	ジュース用トマト	チンゲンサイ	ふき	ライマビーン
うど	金糸瓜	春菊	とうがらし	ふきのとう	らっきょう
ウドブキ	金時豆	しょうが	トウガン	冬菜	ルバーブ
えごま	くわい	食用ほうずき	トマト	ブロッコリー	レタス
えだまめ	ケール	白ウリ	ながいも	ほうれん草	レンコン
エンダイブ	ゴーヤ	白ねぎ	なす	ホンウリ	わさび
エンドウ豆	コゴミ	スイートコーン	にら	マコモダケ	ワラビ
おかひじき	ごぼう	スイカ	ニンジン	みずな	
オクラ	小松菜	ズッキーニ	にんにく	ミニトマト	
かぶ	こんにゃく	セリ	野沢菜	みょうが	
かぼちゃ	ささげ	セルリー	ハーブ	メロン	
カリフラワー	さつまいも	そらまめ	はくさい	モロヘイヤ	

別表2 その他高収益作物
野菜

小豆	きのこ	ししとう	タラの芽	花豆	薬用人参
イチゴ	キャベツ	しそ	チンゲンサイ	パプリカ	野菜(種)
インゲン	きゅうり	じゃがいも	とうがらし	ピーマン	山芋
うど	行者ニンニク	春菊	トウガン	ふき	やまごぼう
うどぶき	金糸瓜	しょうが	とうき	ふきのとう	夕顔
えごま	金時豆	食用ほうずき	長芋	冬菜	ライマビーン
えだまめ	くわい	白ウリ	なす	ブロッコリー	落花生
エンダイブ	ゴーヤ	スイートコーン	にら	ほうれんそう	らっきょう
エンドウ豆	コゴミ	すいか	にんじん	ホンウリ	ルバーブ
おかひじき	ごぼう	ズッキーニ	にんにく	マコモダケ	レタス
オクラ	小松菜	セリ	野沢菜	みずな	レンコン
かぶ	こんにゃく	セルリー	ハーブ	みょうが	わさび
かぼちゃ	ささげ	センブリ	はくさい	メロン	ワラビ
カリフラワー	さつまいも	そらまめ	パクチー	モロヘイヤ	
菊芋	さといも	大根	パセリ	ヤーコン	

花

アーティチョーク	オーニソガラム	菊類	スイセン	パンジー	モルセラ
アザミ	オダマキ	金魚草	スターチス	日扇	矢車草
あじさい	おみなえし	クジャクソウ	ストック	ヒペリカム	ユリ
アトランティア	カーネーション	グラジオラス	スモークグラス	姫ひまわり	ラベンダー
アネモネ	カキツバタ	クリスマスローズ	千日紅	ヒメユリ	ラン
アヤメ	かすみ草	ケイカ	ソリダコ	風船とうわた	リンドウ
アリウム	花木(種)	ケイトウ	ソリダスター	ペチュニア	リコリス
アルストロメリア	がまの穂	コスモス	ダイアンサス	ベニバナ	ルピナス
アロニア	カミツレ	桜	ダリア	ヘリクリサム	レンギョウ
いちい	カラー	ササリンドウ	チューリップ	ほおずき	れんげ
イブニングスター	観賞用唐辛子	サンダーソニア	デルフィニウム	ホトギス	忘れな草
ウメモドキ	カンパニュラ	山林植栽用(種)	ナデシコ	マトリカリア	ワレモコウ
エキナセア	木イチゴ	シクラメン	南天	マリーゴールド	
エキノプス	ギガンチューム	シャクヤク	はす	紫式部	
エリンジューム	キキョウ	スイートピー	バラ	メジューム	

別表1

加工野菜

青トウガラシ	菊芋	さといも	だいこん	パセリ	ヤーコン
小豆	きのこ	ししとう	玉ねぎ	花豆	やまいも
アスパラガス	キャベツ	しそ	タラの芽	パプリカ	やまごぼう
トマト	きゅうり	じゃがいも	中玉トマト	ピーマン	ゆうがお
インゲン	行者ニンニク	ジュース用トマト	チンゲンサイ	ふき	ライマビーン
うど	金糸瓜	春菊	とうがらし	ふきのとう	らっきょう
ウドブキ	金時豆	しょうが	トウガン	冬菜	ルバーブ
えごま	くわい	食用ほうずき	トマト	ブロッコリー	レタス
えだまめ	ケール	白ウリ	ながいも	ほうれん草	レンコン
エンダイブ	ゴーヤ	白ねぎ	なす	ホンウリ	わさび
エンドウ豆	コゴミ	スイートコーン	にら	マコモダケ	ワラビ
おかひじき	ごぼう	スイカ	ニンジン	みずな	
オクラ	小松菜	ズッキーニ	にんにく	ミニトマト	
かぶ	こんにゃく	セリ	野沢菜	みょうが	
かぼちゃ	ささげ	セルリー	ハーブ	メロン	
カリフラワー	さつまいも	そらまめ	はくさい	モロヘイヤ	

別表2
野菜

その他高収益作物

小豆	きのこ	ししとう	タラの芽	花豆	薬用人参
イチゴ	キャベツ	しそ	チンゲンサイ	パプリカ	野菜(種)
インゲン	きゅうり	じゃがいも	とうがらし	ピーマン	山芋
うど	行者ニンニク	春菊	トウガン	ふき	やまごぼう
うどぶき	金糸瓜	しょうが	とうき	ふきのとう	夕顔
えごま	金時豆	食用ほうずき	長芋	冬菜	ライマビーン
えだまめ	くわい	白ウリ	なす	ブロッコリー	落花生
エンダイブ	ゴーヤ	スイートコーン	にら	ほうれんそう	らっきょう
エンドウ豆	コゴミ	すいか	にんじん	ホンウリ	ルバーブ
おかひじき	ごぼう	ズッキーニ	にんにく	マコモダケ	レタス
オクラ	小松菜	セリ	野沢菜	みずな	レンコン
かぶ	こんにゃく	セルリー	ハーブ	みょうが	わさび
かぼちゃ	ささげ	センブリ	はくさい	メロン	ワラビ
カリフラワー	さつまいも	そらまめ	パクチー	モロヘイヤ	
菊芋	さといも	大根	パセリ	ヤーコン	

花

アーティチョーク	オーニソガラム	菊類	スイセン	パンジー	モルセラ
アザミ	オダマキ	金魚草	スターチス	日扇	矢車草
あじさい	おみなえし	クジャクソウ	ストック	ヒペリカム	ユリ
アトランティア	カーネーション	グラジオラス	スモークグラス	姫ひまわり	ラベンダー
アネモネ	カキツバタ	クリスマスローズ	千日紅	ヒメユリ	ラン
アヤメ	かすみ草	ケイカ	ソリダコ	風船とうわた	リコリス
アリウム	花木(種)	ケイトウ	ソリダスター	ペチュニア	リンドウ
アルストロメリア	がまの穂	コスモス	ダイアンサス	ベニバナ	ルピナス
アロニア	カミツレ	桜	ダリア	ヘリクリサム	レンギョウ
いちい	カラー	ササリンドウ	チューリップ	ほおずき	れんげ
イブニングスター	観賞用唐辛子	サンダーソニア	デルフィニウム	ホトギス	忘れな草
ウメモドキ	カンパニュラ	山林植栽用(種)	ナデシコ	マトリカリア	ワレモコウ
エキナセア	木イチゴ	シクラメン	南天	マリーゴールド	
エキノプス	ギガンチューム	シャクヤク	はす	紫式部	
エリンジウム	キキョウ	スイートピー	バラ	メジウム	